

確定図サンプル R8.1作成

(複数枚にわたる場合は合成図を作成)

公 図

大阪法務局東支局写し
令和〇年〇月〇日調査

基準点網図(世界測地系 第VI系)
縮尺 1/〇〇〇 縮尺係数〇.〇〇〇〇〇〇
令和〇年〇月〇日 測量

基準点座標一覧表

測点	X座標	Y座標	標識
10A01	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	街区三角点
10A02			街区多角点
10A03			街区多角点
10A04			街区三角補助点
T.1			街区多角補助点
T.2			金属板
T.3			金属板
T.4			金属板
T.5			金属板
T.6			金属板

●標識は既設/新設の区別をする。
既設八尾市境界プレート
八尾市境界プレート(新設の場合)

種別	測点名	X座標	Y座標	標識
境界点	K1	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	既設八尾市境界プレート
	K2			八尾市境界プレート
	K3			既設八尾市鉄
	K4			八尾市境界プレート
	K12			既設八尾市境界プレート
引照点	K13			既設八尾市コンクリート杭
	IN1			マンホール枠ポンチ穴
	IN2			鉄
	IN3			集水樹角

●対側地が既明示の場合、座標値を記入する。

境界点	引照点	距離
K1	IN1	〇〇〇〇〇
	IN2	
K2	IN2	
	IN3	
K3		
K4		

八尾市土木管財課にて押印

明示図 境界確定図 縮尺 1/〇〇〇

申請地 八尾市〇〇1丁目1番

八尾市土木管財課にて押印 (サイズ縦7cm横6.5cm) 枠線は不要

境界標は、公共用地との境界を示すためのもので、民々境界については所有者間の協議により決定されたい。

凡 例	
道路(里道)	
水路	
市道敷	
縮尺 1:888	
単位 m	

立会 令和〇年〇月〇日
承諾 市道敷
所有地 土地 と公共用地 (道路(里道)) との境界は
現地及び図面に表示されたとおり異議ありません。

所在	地番	住所・氏名	印
本町一丁目	申請地 1	住所 氏名	実印
	隣接地 2	住所 (筆界確認書の写しでも可) 別紙 筆界確認書写しのとおり 氏名	認印
		住所 (筆界確認書の写しでも可) 別紙 筆界確認書写しのとおり 氏名	認印
	本町三丁目	対側地 5	住所 氏名

地元区長/地元水利組合/地元実行組合		印
		認印

作成要領等

- 用紙の大きさは原則A2判とする。(平面図と断面図の分割は原則不可)
- 境界確定図(縮尺1/250以上)、断面図(縮尺1/100以上)を記載する。
- 「〇〇敷」「申請地」「申請地地番」「公共用地境界線」の文字及び公共用地境界線は朱色、既明示境界線は黒色とする。
- 境界標は八尾市支給の境界プレート、コンクリート杭、八尾市金属板を設置する。市販されている境界標でも可であるが、事前に担当職員に確認する。
- 平面図における標識種類は新設の場合は朱色、既設の場合は黒色とする。
- 基準点は八尾市土木管財課で管理されている街区基準点を使用し、結合多角方式により設置する。現地状況等に応じてやむ負えず、開放又は放射において基準点を設置する場合も既知点間の角度及び距離の点検を行い、可能な限り堅固な箇所に設置する。近方に街区基準点が存在しない場合は、任意座標による基準点でも可。
- 原則図面の上方を北とする。
- 境界点距離は小数点以下第2位(第3位以下は切り捨て)とする。
- 引照点距離は小数点以下第3位(第4位以下は切り捨て)とする。
- 引照点は、2点以上設置する。設置場所は、アスファルト上ではなく構造物、マンホール枠等ポンチ、コンクリート上に鉄等を設置する。
1. 境界点の位置がわかりにくい箇所は、拡大図で表示し縮尺を記載する。
2. 隣接地同意または対側地同意は既明示の復元可、既設境界標識があれば省略可であるが、担当職員に事前に確認する。
3. 申請地の境界点遠景・近景現況写真 1部を提出する。
4. 境界確定図は、3部提出する。

※境界確定図下図等は事前に担当職員の点検を受け、修正等を行う。(メール送信可: dkanzai@city.yao.lg.jp)

断面図 縮尺 1/〇〇

A-A'

B-B'

C-C'

D-D'

令和〇年〇月〇日測量

図面名	境界確定図
申請地	八尾市〇〇1丁目1番
作成年月日	令和〇年〇月〇日
作成者	〇〇市〇〇町〇〇二丁目〇〇番1 〇〇〇〇〇測量事務所 土地家屋調査士登録番号〇〇-〇〇 測量士登録番号〇〇-〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇